

2019~2020

THE ROTARY CLUB
OF AMAGASAKI EAST

Weekly Report

尼崎東ロータリークラブ SINCE 1974

会 長 森本吉昭

幹 事 三田恭男

会 報 藤井輝男

会 場 : ホテルヴィスキオ尼崎

例会日 : 水曜日 12:30 ~ 13:30

http://amagasaki-east-rc.com

e-mail amerc@hera.eonet.ne.jp

VOL. 46

本日のプログラム	6月3日(2200回)	次回のプログラム	6月10日
「ハンディキャップ」	平野 高太郎 会員	「クラブアッセンブリー」	各委員長

2020年 5月27日(水) 第2199回WEB例会

1. ソング

省略

2. ビジター紹介

なし

3. 会長の時間

新型コロナウイルスによるロックダウンや、外出自粛により世界中で様々な問題が起こっている中、ここ数ヶ月間「コロナ、コロナ」と耳に聞こえてこない日はありません。

4月7日の緊急事態宣言発令から、およそ1ヶ月半、5月21日大阪、兵庫、京都と関西で緊急事態宣言解除が決定となりました。

休業要請も大幅に解除となり、いよいよ経済回復の方向に向かって行く舵取りがなされたように思います。

ただ、コロナウイルスが消滅した訳ではなく、経済と感染予防をバランス良く進めて行かなくてはならず「出口戦略」はとても難しい問題だと思います。

登山は登りよりも下りの方が大変だと言います。これから、経済活動を戻していくにあたり、例えば飲食店にこれだけを守っていればいいというようなガイドラインは存在しません。それぞれの飲食店でどうすれば最大限に感染が防げるかという事を各々が考えなければならない、難しい事です。

社会経済への影響を最小限にしながら、ウイルスの拡散を最大限に制御していく為の復興の方法というのは、流行が拡散するのを抑え込むよりも、遥かに難しい判断を迫られ、部分解除してもある程度の感染は起こると思います。

今のところ、ゼロリスクにはならないコロナウイルスですので、それをどのように判断するのか、誰が判断するのか、先が見えない事から、明確な判断すら出来ず不安だけが増えるばかりです。

未曾有の事態に直面している企業や団体、経済や日常を取り戻す為に、今から何が出来るかだと思います。

不安が人を変えてしまうコロナウイルスに心まで感染してしまっている人々が大勢いるのではないのでしょうか。

少しでも、希望や安心感が持てるように模索し、努力しながら進んで行くしかありません。

尼崎東ロータリークラブも少しずつ日常へ戻る事に努めて行く事が今の私達に課せられた事だと思います。本日のウェブ例会スピーチは松本会員です。どうぞ宜しくお願い致します。

4. 幹事報告

① 事業実績報告提出のお願い

〆切が 6月3日となっておりますのでよろしくお願いたします。

提出先 事務局まで

5. 委員会報告

なし

ROTARY CONNECTS THE WORLD

国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マニニ



「つながりは挨拶から」

会長 森本吉昭

6. スピーチ

「 青少年奉仕月間 」

松本勝憲会員

5月はロータリーでは青少年奉仕月間となっております。

“ロータリーの青少年奉仕とは”

ロータリーの5大奉仕の1つであり、青少年の指導力養成、奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化への理解を深めるための青少年交換を通じて青少年にとって好ましい変化がもたらされることを期待するものとあります。

以下、青少年奉仕事業の主なプログラムをご紹介します。

1) インターアクト 1962年創設

Interact という名は International Action 「国際活動」を意味します。

対象が12～18歳の若者で構成。主に学校や地域社会における課題をベースに取り組む。

インターアクトクラブは、所在する地区にあるロータリークラブによって結成、指導監督される。



「提唱クラブの役割」

①RIの認定を受け、毎年クラブの情報を報告しなければならない。

②例会に招き、年に1度、活動報告をしてもらう。

③功績、活動を称え、表彰すると共にその活動を広報する。

④世界インターアクト週間に、共同奉仕プロジェクトを実施し参加する。

⑤インターアクト役員を、公式訪問時のガバナーに会うようにする。

*2680地区には26のインターアクトクラブがあり、尼崎グループでは尼崎北クラブが園田女子短期大学、尼崎西クラブが百合学院高等学校のスポンサークラブとなっています。

2) ローターアクト 1968年創設 ローターアクトの名称は、RotaryとAction「行動」からきています。

対象が18～30歳の大学生および若い世代のクラブである。

2週間に1度例会を開き、個々の能力を開発するプログラム、会員相互の親睦を深めるプログラム、社会奉仕活動を通じて世界の人々の間に、より良い信頼関係を築く機会を提供することを目的とする。

インターアクトと同様、所在する地区にあるロータリークラブにより結成、指導監督され、RIによる認定を受けなければならない。

「提唱クラブの役割」

①ローターアクトクラブの役員を例会に招き、年1度活動報告をしてもらうと共にそれを広報する。

②世界ローターアクト週間に共同奉仕プロジェクトを実施する。

③ローターアクトクラブ役員をガバナー公式訪問時、例会に出席するようにする。

*2680地区では9つの提唱クラブがあります。



3) 青少年指導者養成プログラム (RYLA :ライラ)

Rotary Youth Leadership Awards Seminar の意。

RYLAの始まりは、1959年オーストラリア・クィーンズランド州の自治権獲得100周年記念祝賀会に英国のエリザベス女王がアレクサンドリア王女を名代として派遣されました。これを機会に王女と同世代の青年たちを招き、王女と会う機会を作ろうという計画が持ち上がり、オーストラリア全土から集まった青年リーダー達のホストをブリスベンロータリークラブがつとめました。

この時、青少年の資質のよさに感心したロータリアン達は、この催しを毎年することに決め、各クラブ2名の青年を選んでブリスベンに1週間招待し、文化・社会・教育



プログラムに参加させることにしました。こうしてRYLAは現在の第960地区で生まれ、1971年に、国際ロータリーにとり上げられ、正式採用されたプログラム。

当地区では1979年に第2670地区（四国地区）と合同で第1回セミナーを開催。以来41年、毎年小豆島にある神戸YMCA余島にて3泊4日の共同生活の下研修を行う。

当地区では20歳以上の若者が集まり、リーダーシップスキルと人格を養いながらロータリーについて学ぶ集中研修プログラムを実施しています。

「セミナーの中核となるもの」

- ① リーダーシップの基本
- ② 効果的なリーダーシップにおけるコミュニケーションスキルを学ぶ。
- ③ 問題解決の対応法
- ④ ロータリーについて
- ⑤ 自信と自尊心の育成
- ⑥ 地域社会と国際社会の一員としての学び

「セミナーの特色」

- ① 高いレベルの講義と討論
- ② キャビンタイム＝親睦の醸成
- ③ 自由と規律の両立
- ④ 余島の自然
- ⑤ カウンセラーシステム

昨年は、藤井秀樹会員の御令嬢、園田学園女子大学3回生の萌衣さんが、当クラブでは初めてセミナーに参加され、例会で体験の素晴らしいご報告を頂きました。今年のRYLAセミナーはコロナ禍という事で残念ながら中止となりました。

他にも国際奉仕分野で青少年交換が15歳から19歳までの若者に母国以外の国を訪問したり、留学する機会を提供するプログラムがあり、期間が最長1年の長期プログラムと、数日から数週間の短期プログラムのものがありますが、今後しばらくこの状況下での実施は困難。一刻も早く世界が日常に戻ることを祈念し、Webスピーチといたします。

第2680地区 ガバナーエレクト からのメッセージ

〔19～20 ガバナー月信11号より〕

高瀬 英夫（西脇）

次年度にむけては、次のように考えているところでございます。

- ① 新型コロナウイルス感染症対策へのロータリーのお役立ちにつき、クラブよりの要請にスピード感のある対応を心掛ける。
- ② 6月末での退会を最小限に食い止めるべく、地区よりのメッセージを発信する。③ 会員相互のつながりを保つべくオンライン会議、例会を進める（ZOOM会議等）。④ 会長エレクトに直接お会いする機会として、年度前の時機を見て、各グループで開催される次期会長懇談会に、お声かけいただければお伺いします。ご協力よろしくお願いいたします。（中略）

また、このような非常時こそ、日頃積み重ねたロータリアンのご縁、ネットワークが真価を発揮するものと確信しています。先人方々の努力を受け継ぎ、次代へ繋ぐべく、与えられたこの一年のお役目を絶好の機会と捉え、心を一つに、次のロータリー100年に向け、しっかりと扉を開いて参りましょう。